



6月は「プライド月間」



LGBTQ+の象徴であるレインボーカラー

赤は生命、オレンジは癒し、黄色は太陽の光、緑は自然、青は調和、紫は精神

今月はLGBTQ+(レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー、クィア)の権利を啓発する活動が世界的に行われる「プライド月間」。普段はあまり考えることがないかもしれない、「性の多様性」に触れる機会です。



セクシュアルマイノリティ(性的少数者)全般を表す言葉です！

頭文字	意味	公表している著名人
L(レズビアン)	性自認が女性の同性愛者	一之瀬文香
G(ゲイ)	性自認が男性の同性愛者	マツコ・デラックス
B(バイセクシュアル)	両性愛者	カズレーザ
T(トランスジェンダー)	心と体の性が一致していない	KABA. ちゃん
Q(クエスチョニング・クィア)	自分の性を模索中、定義しない、悩んでいる	りんごちゃん



「LGBT 調査 2018」
LGBT 層に該当する人は 8.9%
割合で算出すると、11 人に 1 人
が LGBT ということになります。
(20～59 歳 6 万人を対象
/電通ダイバーシティラボ)



実は左利きの人と同じくらいの割合でもあります！



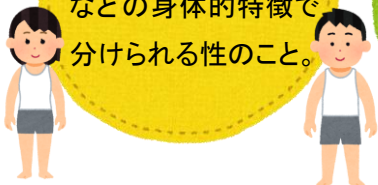
そもそも性って何だろう？

皆さんは、「性」と聞くとどんなことを思い浮かべるでしょうか？「性別」を思い浮かべる人もいるかもしれませんが。例えば、保険証には性別が記されていますね。それは、生まれ持った身体の性が記されています。しかし、身体の性だけでその人を表すことはできません。身体の性だけではない、その人自身の性のあり方のことを

「**セクシュアリティ**」と言います。

身体の性

性器、性腺、染色体などの身体的特徴で分けられる性のこと。



心の性(性自認)

自分自身はどんな性だと思うかということ。



好きになる性(性的指向)

好きになるかならないか、なるとしたら、どんな性の人を好きになるかということ。



性はグラデーション！

みんなちがって
みんないい！



同性を好きなことで、からかわれる。女性の格好をしたら「男なのに」といじめられる。そして自分がおかしいと悩み、誰にも相談できずに追い詰められてしまう…。恋愛・結婚は異性とするもの、性別の区別は男女だけ、という価値観が多数を占める社会では、LGBTQ+の人たちが、暮らしのさまざまな場面で生きにくさを感じています。

LGBTQ+の正しい知識と理解を持つことで、

悲しい思いやつらい思いをする人が1人でもいなくなるような社会にしましょう！

